

## 第 2 回調布市環境基本計画策定委員会結果

日 時	令和 7 年 7 月 3 0 日 (水) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
場 所	教育会館 2 階 2 0 1 ・ 2 0 2 研修室
出席者	委員 : 1 0 名 (うちオンライン参加 1 名)
議 題	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調布市環境基本計画策定委員会での協議事項について</li> </ul> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 次期環境基本計画の骨子 (事務局案) について</li> <li>(2) 調布市地球温暖化対策実行計画の骨子 (事務局案) について</li> </ul>
事務局説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協議事項の整理 : 環境基本計画は環境分野のマスタープランであり、地球温暖化対策実行計画は広範な分野に影響するため、本委員会でも温暖化計画の議論を併せて行う。</li> <li>● 環境基本計画 (骨子案) : 計画期間は令和 8 ~ 17 年度 (10 年間)、必要に応じ中間見直し。基本理念は現行を継承しつつ「将来世代」を明確化。将来像のキーワード案を 5 案例示。基本目標 (案・5 本柱) ①水・緑・生物多様性、②身近な生活環境、③脱炭素、④資源循環、⑤環境学習・協働。重点プロジェクトの位置づけ、推進体制・進行管理 (PDCA) を章立てて整理予定。</li> <li>● 地球温暖化対策実行計画 (骨子案) : 区域施策編と事務事業編を統合し、新計画として策定。適応策を強化し、地域気候変動適応計画に位置づけ。目標値 (案) 2030 年度▲46%以上、2035 年度▲64%以上、2050 年実質ゼロ。次回、施策別削減量の試算と「脱炭素シナリオ」を提示予定。</li> </ul>
委員意見	<p>■ 本委員会の所掌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本委員会で温暖化計画も併せて審議する方針を確認。</li> </ul> <p>■ 次期環境基本計画 (骨子案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本理念・将来像・表現 : 将来像の文言整合 (主語の一貫性) や読点の扱い等、読み手に伝わる記述へ修正要望。「きれいな空間」は騒音等も含む概念へ見直し検討、20 世紀型の「環境管理」から「適正利用」等への表現変更の提案。</li> <li>● 体系・柱立て : 景観を景観計画に委ねるだけでなく、崖線樹林地 (国分寺崖線) の保全姿勢を環境基本計画でも明示すべき。事務局は施策内で具体化予定。基本目標 4 「資源が巡る、資源循環型のまち」は語の重複感あり、表現整理 (例 : 「使い捨てに依存しない」等) を要望。既存廃棄物計画との整合も求めた。</li> <li>● 国際・国内動向の反映 : 第 1 章の「社会的動向」において、汚染 (PFAS 等) を独立項目として明確化すべきとの指摘。事務局は章構成の見直しを検討。</li> <li>● 見える化と参加拡大 : 市内の環境配慮情報 (農産物、店舗の取組、回収拠点、印刷のグリーン認証等) の一元化・可視化を要望。広報紙・特設サイト等での整理が必要。事業者側は調布市との接点や脱炭素の道筋が見えにくい。行動メニューと報告・支援の枠組みの具体化を求める意見。</li> </ul> <p>■ 調布市地球温暖化実行計画 (骨子案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標・手段 : 目標達成は「脱炭素シナリオ」「ロードマップ」に裏付けを、再エネ購入偏重とならぬよう自前・広域連携を含む多層的対策を要望。廃棄物部門は「リサイクル」だけでなく発生抑制 (ごみそのものの削減) を軸に。一部事務組合との関係や計上方法の整理・説明の明確化を求める。</li> <li>● 適応策 (暑熱・災害等) : 適応策の重点の明示 (暑熱、健康、防災・インフラ、生態系影響等) と、短期・中期の対策メニュー化を求める。</li> </ul>